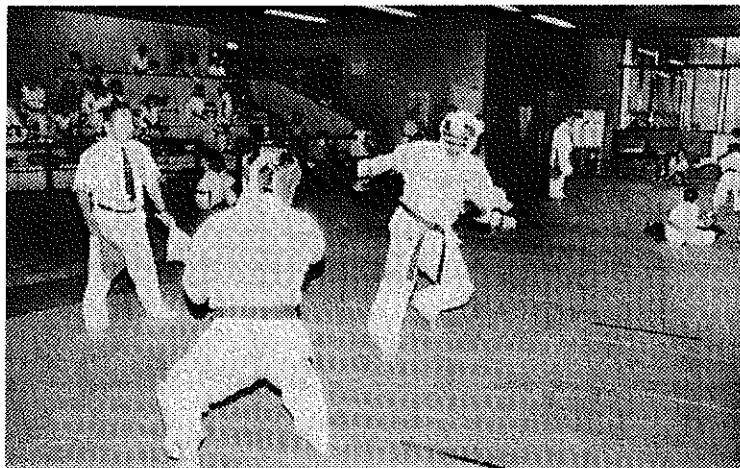


# 人気上昇申です スポーツチャンバラ



真剣に勝負に挑む選手たち＝姫路市中地、市立総合スポーツ会館

1回大会  
第1回  
選手権  
姫路市  
路選

4歳から72歳まで

〃剣士〃122人熱戦

気軽に楽しめる護身術として人気が広がっているスポーツチャンバラの第一回兵庫県選手権大会(県護身道連盟、国際スポーツチャンバラ協会兵庫支部主催)が六日、姫路市中市の市立総合スポーツ会館柔道場で開かれ、四歳から七十二歳までの「剣士」百二十二人が熱戦を繰り広げた。

## 自己流もOK 気軽な護身術

スポーツチャンバラは、文字通り棒でたたき合うチャンバラ(こっこをベースにした武道で、「護身道」とも呼ばれている。スポンジを巻いたプラスチックの棒で相手を打ったり、突いたりして、確実な一撃を一度与えると勝ちというルール。小太刀(六十センチ)長剣(一拵、やり(二拵)などの種目がある。

形式にとらわれず、安全に心身を鍛えられる自由さや、武道の有段者でも子供に負けることもある意外性が受けて、四年前から関東を中心に愛好者が急増。今では全国に三百以上の道場があり、競技人口は五万人を超える。海外でも二十カ国に普及し、アメリカでは愛好者が二万人を超えているという。

大会では、武器や年齢別にごとに個人戦、団体戦の十四のトーナメントが行われた。一般の部には男性に交じって女性剣士も参加。家族らの応援を受けながら、大きな声で気合をかけたたり、ボクシングのようなフットワークを發揮するなど自己流の戦い方で力いっぱい勝負に挑んでいた。